

- 問1 阪神工業地帯に位置する東大阪市は、日本を代表する「ものづくりのまち」として知られています。この東大阪市の工業的な特徴について、名古屋市や横浜市といった他の工業都市と比較した際の傾向として正しいものはどれですか。 (2026年 静岡公立入試 類似)
1. 単位面積当たりの事業所（工場）の数が非常に多く、密集している。
 2. 製造品出荷額が全国の市町村の中で最も高い数値を示している。
 3. 大規模なコンビナートが海岸沿いに広大な面積を占めている。
 4. 一事業所あたりの従業者数が他の大都市に比べて極めて多い。
- 問2 ある地域の人口移動について、昼間人口比率が100%を下回っている奈良県や兵庫県と、100%を超えている大阪府との関係を説明したものとして、正しい記述を選びなさい。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 奈良県や兵庫県は、大阪府へ労働力や学生を送り出す「ベッドタウン」としての役割を果たしている。
 2. 大阪府は、奈良県や兵庫県に住む高齢者が医療や福祉サービスを受けるために昼間のみ移動してくる都市である。
 3. 鉄道網の整備により、大阪府から周辺の府県へ通勤・通学する流れが、流入する流れを上回っている。
 4. 大阪府の昼間人口が多いのは、主に港湾施設での物流作業に従事する人々が周辺府県から集まるためである。
- 問3 琵琶湖の南端付近から流れ出し、堤防が整備された都市部の住宅地を通りながら複数の支流と合流して大阪湾へ向かう淀川水系の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 兵庫公立入試 類似)
1. 水源である琵琶湖が天然のダムのような役割を果たしており、下流域への流量調節や水利用を安定させている。
 2. 日本で最も流域面積が広く、広大な関東平野の農業用水を確保するために大規模な分水嶺が形成されている。
 3. 日本で最も長い河川であり、上流部の雪解け水を利用した発電や米作りが流域の主な産業となっている。
 4. 九州地方を横断する日本有数の急流河川であり、古くから「筑紫次郎」と呼ばれ激しい洪水を引き起こしてきた。
- 問4 近畿地方の兵庫県南部から大阪府にかけての地形は、山地が海の間近まで迫り、そこから平野部へとつながる特徴があります。このような地形的条件がこの地域の都市形成に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 六甲山地などの山地と海に挟まれた平地が限られているため、海岸線を埋め立てて都市機能や港湾を拡張させてきた
 2. 丹波高地から大阪平野にかけて標高差がまったくないため、河川の氾濫を防ぐための大規模な堤防が必要なかった
 3. 標高の高い山地が広大な面積を占めているため、人々は山頂付近に大規模な都市を建設し、生活の拠点としてきた
 4. 大阪湾沿岸部は非常に標高が高い崖になっているため、港を建設することができず、内陸の盆地を中心に貿易が行われた
- 問5 滋賀県の中央部に位置する、日本最大の面積を持つ湖と、その周囲を囲む山地との間に広がる平坦な盆地の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 兵庫公立入試 類似)
1. 琵琶湖と近江盆地
 2. 霞ヶ浦と関東平野
 3. 宍道湖と出雲平野
 4. 中海と松江盆地
- 問6 近畿地方の府県間における人口移動の状況について、2020年の通勤・通学者数のデータに基づいた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 兵庫県から大阪府への通勤・通学による移動は30万人を超えており、近畿地方の中でも極めて強い結びつきを示している。
 2. 三重県から大阪府への通勤・通学による移動は、愛知県への移動に比べて約10倍の規模となっている。
 3. 滋賀県は三重県と同様に、大阪府への移動よりも愛知県への移動の方が多いという特徴を持っている。
 4. 大阪府への通勤・通学者が最も多い県は三重県であり、東海地方と近畿地方を繋ぐ役割を果たしている。
- 問7 大阪府の産業と人口の特徴について述べた文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。なお、大阪府の統計では、製造品出荷額が約17兆円と極めて高い一方で、農業産出額は約300億円と非常に少なく、昼間人口比率は104.4という数値を示しています。 (2025年 和歌山公立入試 類似)
1. 周辺地域から通勤・通学者が流入するため、昼間人口が夜間人口を上回っている
 2. 郊外への人口流出が激しいため、昼間人口比率が100を下回っている
 3. 農業産出額が全国的に高いため、食料自給率が非常に高い産業構造である
 4. 製造品出荷額が低いため、サービス業よりも農業に従事する人口が圧倒的に多い
- 問8 近畿地方の諸県を比較した統計資料において、奈良県の「海面漁業生産額」が0となっている地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 県域がすべて陸地に囲まれた内陸県であり、海に面していないため。
 2. 紀伊山地の森林資源が豊富であり、産業の軸が林業に特化しているため。
 3. 重要文化財などの歴史的景観を保護するため、水産加工場の建設が禁止されているため。
 4. 県内の漁業者がすべて琵琶湖での淡水漁業に従事しており、海での操業を行わないため。
- 問9 日本を7つの地方に区分する考え方において、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府5県が含まれる地方区分を何と呼びますか。 (2021年 山口公立入試 類似)
1. 近畿地方
 2. 中部地方
 3. 中国・四国地方
 4. 関東地方
- 問10 歴史的な景観を重視する地区において、地上にある電柱を撤去し、電線を地下に埋める取り組みが行われる主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 伝統的な建築物と調和した美しい景観を保全し、観光資源としての価値を高めるため
 2. 大型の緊急車両が通行できるように、道路の幅員を大幅に広げるため
 3. 歴史的建造物を取り壊し、跡地に近代的なオフィスビルを建設しやすくするため
 4. 街灯の数を減らすことで、夜間の電力消費を抑え、環境負荷を低減するため
- 問11 滋賀県が「琵琶湖富栄養化防止条例」を制定し、家庭用合成洗剤に含まれる「りん」の使用や販売を禁止した取り組みについて、その意図を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 下流の都市圏へ供給する生活用水の安全と、琵琶湖の生態系を守るため
 2. 琵琶湖周辺での農業生産を拡大するために、化学肥料の使用を促進するため
 3. 名古屋を中心とする都市圏への送水量を増やし、工業発展を支援するため
 4. 琵琶湖での外来魚の繁殖を抑制し、伝統的な漁法を保護するため
- 問12 滋賀県の琵琶湖周辺で見られる、背の高い植物が群生する「ヨシ群落」が持つ環境保全上の役割として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 兵庫公立入試 類似)
1. 湖水の汚れの原因となる物質を吸収する水質浄化作用を持ち、魚類や鳥類などの多様な生き物のすみかとなる生態系を維持する役割
 2. 湖岸の埋め立て事業を効率的に進めるための地盤改良を行い、工業地帯や住宅地を拡大させることで経済活動を促進する役割
 3. 外来種の繁殖を物理的に防ぐために、湖に流入するすべての河川の水を遮断し、湖水の循環を一時的に停止させる役割
 4. 湖底の土砂が堆積するのを防ぐために、岸辺の植物をすべて取り除き、大型船が自由に航行できる水深を確保する役割

答え合わせ・解説

問1	答え 1 単位面積当たりの事業所（工場）の数が非常に多く、密集している。	阪神工業地帯に位置する東大阪市の最大の特徴は、中小工場の圧倒的な集積です。名古屋市や横浜市のような他の大都市と比較した場合、市の面積は小さいものの、事業所（工場）の密度が非常に高いというデータが得られます。これは、限られた土地に多数の中小工場がひしめき合っている「ものづくりのまち」としての性格を反映したものです。
問2	答え 1 奈良県や兵庫県は、大阪府へ労働力や学生を送り出す「ベッドタウン」としての役割を果たしている。	昼間人口比率が100%を下回るということは、その地域に住んでいる人が昼間は他の地域へ外出していることを意味します。奈良県（89.8%）や兵庫県（95.6%）は、鉄道を利用して大阪府内の企業や学校へ通う人々の居住地となっており、このような地域は「ベッドタウン」と呼ばれます。大阪府が104.5%という高い数値を示すのは、これら周辺の「ベッドタウン」から鉄道網を通じて多くの通勤・通学者を受け入れているためです。
問3	答え 1 水源である琵琶湖が天然のダムのような役割を果たしており、下流域への流量調節や水利利用を安定させている。	淀川水系は、巨大な貯水能力を持つ琵琶湖を水源としているため、他の河川に比べて流量が安定しているという特徴があります。これにより、下流域の大阪や京都といった大都市圏に対し、洪水被害の軽減や、飲料水・工業用水の安定的な供給が可能となっています。選択肢にある「流域面積が広い」のは利根川、「日本一長い」のは信濃川、「筑紫次郎」は筑後川の説明です。
問4	答え 1 六甲山地などの山地と海に挟まれた平地が限られているため、海岸線を埋め立てて都市機能や港湾を拡張させてきた	兵庫県南部、特に神戸周辺では六甲山地が海の間近まで迫っており、居住や産業に利用できる平地が非常に限られています。そのため、山を削った土砂で海を埋め立て、ポートアイランドのような人工島や公共施設を整備することで、限られた土地を有効に活用して都市を発展させてきた歴史があります。
問5	答え 1 琵琶湖と近江盆地	滋賀県は周囲を鈴鹿山脈や比良山地などの高い山々に囲まれており、その中央に位置する琵琶湖の周辺には近江盆地が広がっています。琵琶湖は県全体の面積の約6分の1を占め、この水系を中心とした独特の地形景観が形成されています。
問6	答え 1 兵庫県から大阪府への通勤・通学による移動は30万人を超えており、近畿地方の中でも極めて強い結びつきを示している。	近畿地方の人口移動では、大阪府を中心とした都市圏の広がりが見られます。具体的には、兵庫県から大阪府へ30万人以上が移動しており、最大規模の結びつきを見せています。一方で三重県は、大阪府への移動（約5千人）よりも愛知県への移動（約4万人）の方が圧倒的に多く、滋賀県などが持つ「大阪方面への強い志向」とは異なる、独自の地域的結びつきを持っています。
問7	答え 1 周辺地域から通勤・通学者が流入するため、昼間人口が夜間人口を上回っている	大阪府は近畿地方の経済や教育の中心地であり、兵庫県や奈良県などの周辺地域から多くの人々が仕事や通学のために流入します。そのため、昼間の人口を夜間の常住人口（常住人口）で割った「昼間人口比率」が100を超え、大都市圏の中心としての特徴が顕著に現れています。また、製造業が盛んで出荷額が高い一方で、都市化が進んでいるため農業産出額は極めて低いという都市型の産業構造を持っています。
問8	答え 1 県域がすべて陸地に囲まれた内陸県であり、海に面していないため。	奈良県は日本に8つある内陸県（栃木県、群馬県、埼玉県、山梨県、長野県、岐阜県、滋賀県、奈良県）の一つです。海に面した海岸線を持たないため、物理的に「海面」での漁業を行うことができません。統計上の数値はゼロになります。選択肢にある「琵琶湖」は滋賀県に位置する日本最大の湖であり、奈良県の地理的特徴とは合致しません。
問9	答え 1 近畿地方	日本の地方区分は、歴史的背景や地理的なまとまりに基づいて分類されています。近畿地方は、古くから日本の政治・文化の中心地であった京都府と大阪府の2府を中心に、それを取り囲む三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県の5県を合わせた「2府5県」で構成されます。三重県は経済的な結びつきから東海地方（中部地方）として扱われることもありますが、一般的な7地方区分では近畿地方に含まれます。
問10	答え 1 伝統的な建築物と調和した美しい景観を保全し、観光資源としての価値を高めるため	電線の地中化は、視覚的に邪魔な構造物を排除することで、古い町並みの雰囲気や景観を最大限に引き出す目的で行われます。これにより、観光客にとって魅力的な景観が創出され、地域経済の活性化にもつながります。また、景観の向上だけでなく、電柱がなくなることで歩行者の安全性が高まったり、地震などで電柱が倒壊するリスクを防いだりする防災上の利点も併せ持っています。
問11	答え 1 下流の都市圏へ供給する生活用水の安全と、琵琶湖の生態系を守るため	琵琶湖は滋賀県内だけでなく、下流に位置する大阪を中心とする都市圏の1400万人以上の生活を支える水資源です。かつて洗剤に含まれていたリンは、湖の富栄養化を招き水質を悪化させる原因となりました。このため、県民による「石けん運動」などの市民活動が活発化し、県は行政として洗剤の使用や販売を制限する法的措置を講じました。これは、環境保全が都市部の人々の生活基盤（生活用水）を守ることに直結している好例です。
問12	答え 1 湖水の汚れの原因となる物質を吸収する水質浄化作用を持ち、魚類や鳥類などの多様な生き物のすみかとなる生態系を維持する役割	ヨシ群落は、窒素やリンなどの水を汚す原因となる物質を成長の過程で吸収し、水質を浄化する機能を持っています。また、その密集した環境は、魚の産卵場所や鳥のねぐら、多様な昆虫の生息地となっており、地域の生態系を支える重要な基盤となっています。これらは自然の仕組みを活かした環境保全の代表的な例です。